

# 固定資産の交換の場合の譲渡所得の特例（所得税法第 58 条）要件適否判定表

										名簿番号							
あなたの	住所					氏名 (フリガナ)			職業			電話	( )				
関与税理士	住所					氏名 (名称)						電話	( )				

  

内 容 等										特例要件の判定	
交換の内容	交換の相手方	住所 _____ 氏名 _____ 続柄 _____								交換譲渡資産の時価と交換取得資産の時価との差額は、いずれか高い方の時価の 20% 以下か	該当・非該当
	交換の申込	イ あなたから	交換した理由等								
	口 相手方から										
	契約の日	年 月 日	引渡を受けた日	年 月 日							
	交換差金の収受	イ 交換差金を支払った。→→支払金額 _____ 円 ロ 交換差金を受取った。→→受取金額 _____ 円 ハ 交換差金の支払い、受取もない。 ※上記交換差金には、金銭以外の物や権利等を含みます。									
交換資産の時価	譲渡資産 _____ 円 取得資産 _____ 円										
交換により相手に渡した資産	所在地		種類				面積		(a) 互いに 1 年以上所有していた固定資産か	該当・非該当	
			土地	宅地・田・畑・山林・( )			m <sup>2</sup>				
			建物	居宅・店舗・工場・( )			m <sup>2</sup>				
	交換するまでの利用方法	土地	宅地・田・畑・山林・原野・その他 ( )						(注) 相手方が交換を行うために取得したものは対象となりません。		
	建物	居宅の用・店舗又は事務所の用・その他の用 ( )									
	交換により渡した資産の取得年月日	年 月 日		相続・贈与・売買・その他 ( )							
交換により渡した資産の取得年月日	売買で取得した場合	取得先 住所 _____ 氏名 _____ 取得金額 _____ 円						(b) 同種の資産か	該当・非該当		
から交換により取得した資産	所在地		種類				面積		(c) 同一の用途に使用しているか	該当・非該当	
			土地	宅地・田・畑・山林・( )			m <sup>2</sup>				
			建物	居宅・店舗・工場・( )			m <sup>2</sup>				
	交換により取得した後の利用方法	土地	宅地・田・畑・山林・原野・その他 ( )						※(a)・(b)・(c)の判定は、「交換により取得した資産」と「交換により相手に譲渡した資産」の双方を比較して判定します。		
	建物	居宅の用・店舗又は事務所の用・その他の用 ( )									
交換の特例（所法 58 条）の適否の総合判定								特例要件の判定の全てに該当する場合⇒⇒⇒⇒⇒特例該当			
								特例要件の判定の 1 つでも非該当の場合⇒⇒⇒⇒⇒特例非該当			

※ 交換の特例を受ける場合には、この判定表に交換により取得した資産及び交換で渡した資産の登記事項証明書の添付をお願いします。